

2005年度、奈良女子大学現代GPの取り組み

現代GPとは

奈良女子大学は2005年度、「地域変革を促す女性人材育成プログラム—歴史的市街地に立地する大学を地域社会変革の拠点とする—」というテーマで現代GPに採択されました。この事業は、2005年10月からスタートし、2007年度まで2年6ヶ月かけて取り組みます。

現代GPとは、現代的な教育ニーズに応えようとする優れた取り組みとして、文部科学省が認めた教育改革事業です。現代GPには六つの領域が設定されています。そのうち本学の事業は、地域貢献（地元密着型）に属します。この地域貢献（地元密着型）は、地域社会と連携した形で教育改革を進め、そのことが地域活性化などにも資するもので、連携を図る地域がおおむね一つの市町村とされています。

奈良女子大学現代GPの特徴

本学のプログラムは、様々な授業を地域社会と市民の中で展開し、教室では得ることができない実践的な内容に授業内容を改善しようとするものです。また、個別の取り組みではなく、生活環境学部の中で六つのテーマを設定し、それに沿って学生が系統的に学べるような工夫もしています。

6つのテーマと3つのフィールド

六つのテーマは、商店街の活性化、歴史的な生活・町家から学ぶ、住宅地の居住環境整備、安全・安心のまちづくり、女性起業家から学ぶ、歴史的景観の現代的再生です。

タイアップする地域は、近鉄奈良駅周辺の商店街、ならまち、きたまちですが、それ以外にも奈良市内で適切なフィールドを設定します。奈良女子大学は町の中心部にあり、徒歩圏内に商店街、住宅地、歴史的市街地が集積しています。しかも、歴史が古く、様々な観光資源が都心部に集中しています。このような他では得難い有利な条件をいかした取り組みです。

現代GPの様々な取り組み

六つのテーマに沿って系統的なカリキュラムを組むのは2006年度からになります。しかし、2005年度もいくつかの先行的な取り組みを実施しました。その具体的な内容は、4ページ以降を参照してください。

それ以外には、2月に現代GPシンポジウム（本紙10ページ）、3月に卒業研究発表会（本紙13ページ）を開催しました。これらは2006年度以降も継続する予定です。

このような様々な事業を進めるため、学内に現代GP推進室を開設しました。さらに市民、学生にも協力を願うため現代GP懇談会を設置しました（本紙3ページ）。



岐阜経済大学マイスター倶楽部との交流



東北公益文科大学との交流



現代GPフォーラムポスターセッションに参加